

<本年度の会長方針>

渡邊会長

今年度（2006～07）の会長を務めさせていただきます渡邊でございます。当然ながら初めての経験ですので、何かと皆様方にご迷惑や不手際なことがあろうかと思いますが、その時はロータリーの友情に免じて寛容な気持ちで対応をいただければと思っておりますので、井上幹事共々お支えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

私は十年前に高橋会長のもと、幹事を務めさせていただきましたので、その経験も活かせればと考えております。今年度のボイドR I会長のテーマは「率先しよう」ですので、皆様も積極的に自ら進んで行動を起こしていただきたいと思っております。特に各委員長は、それぞれの立場で先頭にたってクラブ活動計画を実践してください。次年度は三十周年を迎えますので、碓井増強委員長を中心に会員一丸となって、悲願でもある会員五十名にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。会員誕生・奥様誕生・入会記念等の祝い事につきましては例年通りということで、安藤亨親睦委員長にお任せしました。会場監督の北島委員長には出席したくなるような雰囲気作りに重点を置き、難しいでしょうが、なごやかな中にも節々は締まった例会となるよう、努力をしていただきたい。前年度は市民救急救命士や青色パトカー等の地元密着の事業が展開され、実績を作られました。これも箕輪社会奉仕委員長を中心に継続協力すべきことと思っております。

桐光学園インターアクトクラブにつきましては、自主性を尊重し、側面より協力をしていきます。ローターアクトについては、現在は休眠状態なのでクラブフォーラム等で意見交換をし、会員の認識を高めていきたい。小塚職業奉仕委員長には具体的に実践しにくい委員会ではありますが、有意義な職場訪問等の計画をお願いいたします。

安藤登国際奉仕委員長にはロータリー財団・米山奨学等の寄付をお願いしていただくとともに、安倍カウンセラーのもと中国籍の林松国さんを迎えますので、全会員でフォローしていきたいと思っております。

す。また、年が明けると友好クラブの台湾永和ロータリークラブの三十周年が予定されておりますので、記念式典に参加の取りまとめ等、よろしくお願い申し上げます。

当クラブも大矢実行委員長を中心に三十周年の実行部隊の確立等の作業を進めていく年度でもありません。特に年度後半はこのことで多くの意見交換をしていかなければならないと思っております。

いずれにせよ、四大奉仕部門を核として、より効果的なクラブ運営ができればと願っております。私がロータリーに入会させていただいた時代は、各事業は単年度で完結し、継続はあまりしないというように聞いておりましたが、近年は考え方も世の中も変わったせいか、ある程度継続をしないと定着しないといいますが、うまく完結しないことも多いようでもあります。また、クラブ内の人数も20数名位から100名クラスまであり、委員会組織や財政面でも格差がいろいろとあるのが現状ではないでしょうか。このことにつきましてはクラブ・リーダーシップ・プラン(C・L・P)等の考えを理解しスリムな実行あるクラブ体制を作り、効果的・効率的な運営や活動ができるようにしなくてはと思います。それには会員の理解が必要不可欠なことなのでクラブフォーラム等で意見交換や議論を積み重ね、理解を深めることが必要と考えています。まとまりのない会長方針をお話し申しあげましたが、悔いの残らぬ一年にしたいと思っておりますので、皆様のご指導とご協力を、非力な私によりよろしくお願い申し上げます。

